

【短報】山口県岩国市でホンシュウセスジダルマガムシを採集

ホンシュウセスジダルマガムシ *Ochthebius japonicus* Jäch, 1998 (ダルマガムシ科, セスジダルマガムシ属) は本州に限って分布する種類と思われていたが, その後の調査で四国(上手ほか, 2003)や九州(中島ほか, 2004)からも相次いで記録され, 本州以西に広く分布することが明らかになった. 中国地方では山口県を除く広島県, 島根県, 鳥取県, 岡山県の各県で記録されている(秋山, 2003; 林, 2012; 山地, 2012). 一方, 山口県におけるセスジダルマガムシ属の記録は, 海岸性のセトコブダルマガムシ *Ochthebius matsudae* Jäch & Delgado, 2014 (Jäch & Delgado, 2014) およびダルマガムシ属の一種 *Ochthebius* sp. (松田, 2018) のみである. 松田ほか(2014)によりクロコブセスジダルマガムシ *Neochthebius granulatus* (Satô, 1963) が記録されているが, これはセトコブダルマガムシである(川野, 私信). 筆者らは新たにホンシュウセスジダルマガムシ(以下, ホンシュウと称す)を確認したので初記録として報告する.

11 exs., 山口県岩国市錦町広瀬 錦川本流, 20. IX. 2018; 7 exs., 山口県岩国市錦町深川 錦川水系宇佐川, 25. IX. 2018; 6 exs., 山口県岩国市錦町柿木原 錦川水系宇佐川, 26. IX. 2018. いずれも辻採集・相本同定・保管. (図1)

本種を確認したのは, 県東部の岩国市を流れる二級河川錦川本流およびその支川である. 採集環境は, 河川上流部の瀬で, 上部が水面から突き出た岩の水際である(図2). 水面近くの窪みに1~数個体が集合しており, いずれの地点でも個体数は少なくなかった.



図1. ホンシュウセスジダルマガムシ(山口県産).



図2. 生息環境(宇佐川).

セスジダルマガムシ属 (*Ochthebius*) の本州, 九州での分布に関しては, 上手ほか(2003)では, ハセガワセスジダルマガムシ *O. hasegawai* Nakane & Matsui, 1986 (以下, ハセガワと称す) が最も普通に見られるとされ, また吉富ほか(2000)でも本種とハセガワは同様な環境に生息するがホンシュウの方が少ないとの記述がある. 一方で, 兵庫県ではハセガワは少なく, ホンシュウが最も多く見られるとの記述(森, 2017)もあり, この2種の生息状況が地域によって異なっている可能性が示唆される.

今回は山口県からホンシュウを確認したが, 県内のセスジダルマガムシ属の分布調査はほぼ手付かずと言ってよい状態にある. 今後は本種の追加記録のみならず, セスジダルマガムシ属全体の分布解明に努めたいと考えている.

最後に, 文献の紹介から報文作成の助言まで終始ご協力いただいた環境科学大阪株式会社の森正人氏, クロコブセスジダルマガムシの記録についてご教示いただいた豊田ホテルの里ミュージアムの川野敬介氏, 岡山県における本種の情報を提供していただいた岡山県の江木寿男氏にお礼を申し上げる.

引用文献

- 秋山美文, 2003. 広島県産甲虫の分布記録(7). 比和科学博物館研究報告, 42: 45-59.
 林 成多, 2012. 山陰のダルマガムシ. ホシザキグリーン財団研究報告, (15): 53-63.
 Jäch, M. A., 1998. Hydraenidae: II. The Taiwanese and Japanese species of *Ochthebius* Leach (Coleoptera). Water Beetles of China, 2: 173-193.
 Jäch, M.A. & J.A. Delgado, 2014. Revision of the Palearctic species of the genus *Ochthebius* LEACH XXIX. The Asian species of the *O. vandykei* group (Coleoptera: Hydraenidae). Koleopterologische Rundschau, 84: 81-100.

- 上手雄貴・藤本博文・吉富博之, 2003. 四国で採集したセスジダルマガムシ属, 甲虫ニュース, (142): 18.
- 松田真紀子, 2018. 下関市のセスジダルマガムシ属の一種の生態. 豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書, 10: 145-153.
- 松田真紀子・川野敬介, 2014. 下関市三軒屋海岸の生物3種. 豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書, 6: 131-132.
- 森 正人, 2017. 兵庫県の水生ガムシ類. きべりはむし, 39 (2): 42-52.
- 中島 淳・緒方 健, 2004. 福岡県・佐賀県におけるセスジダルマガムシ属4種の採集記録. 甲虫ニュース, (147): 13-14.
- 山地 治, 2012. 岡山県産甲虫目録2012., 401 pp. 公益財団法人岡山県環境保全事業団.
- 吉富博之・松井英司・佐藤光一・疋田直之, 2000. 日本産セスジダルマガムシ属概説. 甲虫ニュース, (130): 5-11.



図1. コプリメツノゴミムシダマシ.

(辻 雄介 742-0344 岩国市玖珂町 6450-48)

(相本篤志 747-0806

防府市石が口 3-10-10-2-B202)

本種はこれまでおもに近畿地方以西から記録され, 春日山が東限のようである. 今回の記録は, 本種の東限記録かと思われる.

【短報】ゴミムシダマシ科2種の岐阜県からの記録

フトヒメツノゴミムシダマシ *Toxicum morii* (Masumoto et Akita, 2008) とコプリメツノゴミムシダマシ *Cryphaeus boleti* (Lewis, 1894) は, これまで岐阜県からは記録がない. この2種の岐阜県初記録を報告する.

報告にあたってフトヒメツノゴミムシダマシを採集し, 発表を快諾していただいた宮野昭彦氏(岐阜県各務原市)に厚くお礼申し上げる.

1. フトヒメツノゴミムシダマシ *Toxicum morii* (Masumoto et Akita, 2008)

1♂, 岐阜県海津市南濃町羽根谷, 4. VIII. 2016, 宮野昭彦採集(灯火), 筆者保管.

本種は兵庫県を基産地として2008年に記載され, その後福井県, 京都府, 岡山県, 三重県などで採集されている. 秋田・益本(2016)によると急速な分布の拡大傾向が伺え, 移入種の可能性が疑われるとされる.

2. コプリメツノゴミムシダマシ *Cryphaeus boleti* (Lewis, 1894) (図1)

1♂, 岐阜市達目洞, 6. VII. 2017, 筆者採集・保管(図). 1♂, 同, 13. VII. 2017, 筆者採集・保管.

本種は秋田・益本(2016)によると春日山のような低山地での採集例もあるが, 標高1,000m~1,500mのブナ帯での採集例が多いとされる. 岐阜市達目洞は金華山東麓の照葉樹林のよく保存された標高35mほどの低地である. 部分枯れのコナラ大径木の枯死部から採集した.

引用文献

- 秋田勝己・乙部 宏, 2015. 鈴鹿市でフトヒメツノゴミムシダマシを採集. ひらくら, 59 (1): 21.
- 秋田勝己・益本仁雄, 2006. 日本産ヒメツノゴミムシダマシ属(ゴミムシダマシ科)について. 甲虫ニュース, (155): 1-7.
- 秋田勝己・益本仁雄, 2016. 日本産ゴミムシダマシ大図鑑. 304 pp. むし社, 東京.

(豊島健太郎 500-8227 岐阜市北一色 3-12-14)

【短報】オニダナエテントウダマシ岐阜県からの記録

オニダナエテントウダマシ *Danae shibatai* Nakane, 1958 (図1) は, 基産地の奈良県(佐々治, 1980)のほか群馬県(沢田, 1983), 青森県(尾崎, 2000), 東京都(亀澤, 2011)から知られるが, 他にはほとんど記録を聞かない種である.

筆者は岐阜県産の本種の標本を蟹江昇氏(愛知県瀬戸市)よりいただいたので, 岐阜県初記録種として報告する.

1 ex., 岐阜県大野郡白川村大白川, 7. VIII. 2012, 蟹江昇採集, 筆者保管.

報告にあたり貴重な標本を恵与され, 発表を快諾された蟹江昇氏, 文献でお世話になった亀澤洋氏(川越市), 高井泰氏(関市)に厚くお礼申し上げる.